

## 1年 道徳学習指導案

平成29年1月24日(火)

指導者

- 1 主題名 よりよい学校生活，集団生活の充実(内容項目番号 C- (15))  
(資料名「鳩が飛び立つ日 -石井筆子-」 出典「私たちの道徳」)

### 2 主題設定の理由

#### (1) 価値について

内容項目 C- (15) は「教師や学校の人々を敬愛し，学級や学校の一員としての自覚をもち，協力し合ってよりよい校風をつくるとともに，様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること」をねらいとしている。

人間は社会的な生物であり，他の人々と集団を形成して生活している。目標を実現するために様々な集団に所属して，ともに力をあわせて活動している。それぞれの集団の中では一人一人に役割があり，互いが協力して活動する中でその責任を果たすことになる。自分の役割と責任を自覚して集団の中で活動することは，自分自身の向上につながるとともに，集団生活の充実に寄与することができる。

中学生の時期は学級，学校，地域社会などの様々な集団との関わりが広がってくる。それぞれの集団への帰属意識を高め，集団の一員として一体感を持って活動することにより，人間としての成長が期待される。生徒は学級や部活動，学校行事等で自らの役割を強く自覚して積極的に活動している。しかし，時に思い通りにならずに悩んだり，自分の思いばかりを先行させて人間関係が崩れたりすることがある。

入学当初は，中学校生活に適応できるかどうかを心配された生徒が見られたが，一人一人を認め育てる指導により，前向きに生活している。中学校生活は楽しいと感じており，学習態度も向上している。職員と生徒及び生徒同士の間関係が適切に築かれており，部活動や係活動にも意欲的に取り組んでいる。しかし，他の人の思いを受け止めきれなかったり，自分の役割となる活動を面倒くさく感じて長続きしないことも見られる。

以上のことから，改めて自分が所属する集団の一員としての自分自身の立場を見つめ，自分の役割と責任を自覚し協力して集団生活を充実させる態度を育てることをねらいとして，本主題を設定した。

#### (2) 生徒の実態について(21人)

中学生としての自覚を持って，落ち着いた生活をしている。明るく素直で，自分のやるべきことを確実に行動しようとする気持ちが育っている。自他のことを考えて着実に行動できる生徒も見られるが，幼くて自分の関心を持ったことに流されがちになる生徒もいる。道徳の授業に前向きに取り組む，自分の考えを発表したり，考えを記述することができる。

本時を展開するにあたり行った事前調査の結果は，以下のとおりである。

- ① 学校生活は楽しいですか。 とても楽しい9人，まあまあ12人
- ② 授業はわかりますか。 よくわかる2人，まあまあ18人，あまり1人
- ③ 勉強しないですめばよいと思いますか。

よく思う1人，時々8人，たまに5人，思わない7人

- ・それはなぜですか。 将来のため，勉強しないといけない，つまらないから，勉強がわからないから，面倒だから(各2人)等

④ 明治期の日本では学校に通えない子供がいました。今、毎日当たり前に学校に通って勉強できることをあなたはどのように思いますか。

幸せ(6人)、有難い、良かった(各4人)、嬉しい(3人)、昔の人はかわいそう(2人)等

・それはなぜですか。今は当たり前に学べる(4人)、学校に通えるから、勉強できるから、将来役立つことが学べる、友達と会える、楽しい、高校に行けなくなるから、仕事に就けなくなるから(各2人)等

⑤ [場面調査]苦労して立ち上げ、順調に成績を上げてきた会社の建物が火災で焼け、社員6人が亡くなりました。従業員から何とか再建してくださいと頼まれましたが、社長であるあなたは会社の廃止を決意しました。

・あなたはどんな気持ちになりますか。悔しい(8人)、悲しい(7人)等

・それはなぜですか。亡くなった人がいる、頑張ってきたから(各3人)すべてなくなったから(2人)等

⑥ [場面調査]会社の廃止を聞いた多くの人から資金援助の申し出があり、従業員も会社の再建に協力的です。

・あなたはどうしますか。再建する(19人)等

・それはなぜですか。協力してくれるから(7人)、応援してくれるから、みんなの気持ちに応えるため(3人)、社員のため、期待に応えるため(各2人)等

⑦ 学校生活の中であなたは、皆のためにどんなことに心がけていますか。

挨拶(5人)、学校生活を楽しむ(3人)、言動に気を付ける、進んで働く、係活動(各2人)

・それはなぜですか。人の役に立ちたい(3人)、笑顔になる、楽しいからコミュニケーションをとるため、迷惑をかけないため、嫌な思いをしないから(各2人)等

事前調査の結果から、生徒全員が学校生活を楽しいと感じており、1人をのぞいて授業がわかると答えている。勉強しなくてすめばよいと思わない生徒が7人、たまに思う生徒が5人おり、理由としては「将来のため」「勉強しないといけない」と答えている。勉強しなくてすめばよいと思う生徒は1人、時々考える生徒は8人であり、「つまらないから」、「勉強がわからないから」、「面倒だから」等の理由を挙げている。今学校に通えることを「幸せ」「有難い」と考えており、勉強できることへの感謝の気持ちを表している。

場面調査で苦労して立ち上げた会社が焼けたら、悔しい(8人)、悲しい(7人)気持ちになるが、再建の協力を得られれば、1人を除く生徒は「協力」(7人)や「応援」(3人)に応じて再建したいと答えている。学校生活では「挨拶」(5人)、学校生活を楽しむ(3人)などして、人の役に立ったり、楽しく過ごしたいと考えている。

以上の結果を踏まえ、この1年間の中学校生活を見つめ直し、学級や学校の一員としての自分の役割と責任を振り返らせたい。その上で、集団生活を充実させるためにどのように過ごすかについてより深く考える機会としたい。

### (3) 資料について

石井筆子は明治の初めに女子教育の充実に努めていたが、自分の子供に知的障害が見つかったのをきっかけに、当時は日本で行われていなかった障害児教育に苦労を重ねて取り組んだ女性である。

自らの子供の知的障害に心が晴れなかった筆子は、石井亮一から知的障害児教育に対する理想を聞き、孤児や障害のある子供の教育に取り組んだ。筆

子は三人の娘が次々に病で亡くなった心の痛みを胸に感じつつ、学園の子供たちを守り育てた。学園の教育に取り組んで20年がたったある夜、一人の子供の火遊びにより学園は大火に襲われ、園児6人の命が失われた。学園の廃止を決断した亮一と筆子であったが、学園の存続を願う人々の励ましを受けて、子供たちのために再び立ち上がり理想の実現に向けて歩み続けた。

幾多の苦しみや困難の中で諦めることなく、自分の目指すよりよい社会を実現するために、自らの役割と責任を強く自覚して人生を生き抜いた筆子の姿は生徒に感銘を与えるであろう。筆子がどんな考えを持って苦難を克服してきたかを追求することにより、社会の一員としての自覚を持って自分の役割と責任を果たすことの大切さを考えさせたい。

### 3 ねらい

苦難を乗り越えていく筆子の思いを考えることを通して、社会の一員としての自覚を持ち、集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に勤める態度を育てる。

### 4 展開

| 学習活動と主たる発問                                                                                              | 予想される生徒の反応                                                                                                                          | 時配 | 支援の手立て・留意点                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 学校について話し合い、資料の内容に入れるようにする。</p> <p>① 学校生活は楽しいか。</p> <p>② 授業はわかりますか。</p> <p>③ 勉強しないですめばよいと思いますか。</p> | <p>① とても楽しい9人，まあまあ12人</p> <p>② よくわかる2人，まあまあ18人，あまり1人</p> <p>③ よく思う1人，時々8人，たまに5人，思わない7人</p>                                          | 4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調査では学校生活を楽しみ，授業がわかると答えており，勉強は必要と考えている生徒が多い事を示し，資料に入る雰囲気をつくる。</li> <li>・資料を読み進め，筆子の気持ちを考えることを説明する。</li> </ul> |
| <p>苦難を乗り越えていく筆子の思いを考えることを通して集団生活を充実させることについて考えよう。</p>                                                   |                                                                                                                                     |    |                                                                                                                                                        |
| <p>① 女子教育の充実に尽くしてきた筆子は次女が亡くなり，三女に知的障害が見つかり，夫まで亡くなった時，どんな気持ちだっただろうか。</p>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供に障害があり，悲しい気持ち。</li> <li>・家族が次々に亡くなり，次女の将来が不安だった。</li> <li>・子供がかawaiiそうだと思っていた。</li> </ul> | 6  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次女と夫が亡くなり次女には知的障害があり，やるせない気持ちだったことを捉えるようにする。</li> </ul>                                                        |
| <p>② 女学校を手放し，障害者教育に取り組む中で幸子まで失い，幸子が小さな鳩を刺繍したハンカチを握りしめて筆子</p>                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・亡くなった子供の分も学園の子供のために尽くそう。</li> <li>・学園の子供を幸せにしたい。</li> </ul>                                 | 6  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・亡くなった子供の分まで学園の子供を大切に守り育てようとする気持ちをつかませる。</li> </ul>                                                             |

|                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |            |                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>は何を考えただろうか。</p> <p>③ 学園の火災で6人の園児を亡くし、学園の廃止を決意した亮一に黙ってうなずいた筆子はどんな気持ちだったかをプリントに書きましよう。</p>                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦しくても学園の子供の笑顔を増やしていこう。</li> <li>・ 6人も園児が亡くなり、悔しい気持ち。</li> <li>・ 子供たちのために頑張ってきたのに悲しい気持ち。</li> <li>・ 自分の子供だけでなく、園児まで失い、責任を感じている。</li> <li>・ 子供の火遊びが原因で学園が燃えてしまいショック。</li> <li>・ 恐ろしさで火災から逃げられなかった園児の気持ちを考え、無力さに絶望した。</li> <li>・ 学園を続けるのは無理だという気持ち。</li> </ul> | <p>1 4</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 亡くなった園児の気持ちを思い、園児の命を守れなかった悔しさと悲しみの中で、学園を継続することはできないという筆子の気持ちを理解できるようにする。</li> </ul>                                  |
| <p>④ 筆子が学園を再開してそれまでの歩みを続けたのはなぜだろうか。(補助発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学園をやめたらどうなるのだろうか。</li> <li>・ 多くの人なぜ学園存続を望むのだろうか。</li> <li>・ 筆子に多くの人たちは何を望んでいるのだろうか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆が協力してくれるから。</li> <li>・ 学園存続を願う人の気持ちに伝えたい。</li> <li>・ 障害を持った子供を助けたいから。</li> <li>・ 自分の役割が認められていることがわかったから。</li> <li>・ ここでやめたら責任が果たせないから。</li> </ul>                                                                                                          | <p>8</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ それまでの筆子たちの活動が障害のある子供のためになっていたことを捉えるようにする。</li> <li>・ 自分の役割を自覚して責任を果たすことにより、集団生活を充実させることができることを理解できるようにする。</li> </ul> |
| <p>3 石井筆子の生き方を学習したことを踏まえて、自分の所属する集団を振り返り、その集団の生活を充実させるためにどのように行動したらよいかをプリントにまとめる。</p>                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の属する集団で自分の役割を果たしたい。</li> <li>・ 苦しいことがあっても周りの人のことを考えて行動したい。</li> <li>・ 人のためにできることをして、よりよい集団にするために活動したい。</li> </ul>                                                                                                                                         | <p>1 0</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プリント</li> <li>◇ 集団の一員として自分の役割を果たして責任を果たすことで自分の所属する集団をよくしていこうとする考えをまとめることができたか。</li> </ul>                            |
| <p>4 自己評価の欄を記入する。</p>                                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日の授業の取組について記入する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                | <p>2</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5段階で自己評価し、理由を記入する。</li> </ul>                                                                                        |

